

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
哲学		選択	2	3	集中講義
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
神谷 直樹	C312	nkamiya	木曜日 10:30～12:20		
授業の目的・概要	<p>・この授業は、西洋哲学の歴史的な流れに沿って、主体的に「哲学すること」に重点を置いた学習を通じて論理的思考力を養うとともに、人間の生き方や公共的な課題について多角的な視点から考察することの大切さを理解し実践することを目的とする。</p> <p>・この授業では、古代から現代に至る西洋の哲学・倫理思想について系統的に説明し、現代の倫理的課題について問題提起を行う。Microsoft Teams を利用して同時双方向型の遠隔授業を行う。</p>				
学習上の助言	Microsoft Teams を利用して毎回の講義のテーマの概要を事前に知らせるので、予習をしておくこと。また、毎回の課題や質疑応答には積極的に取り組むこと。				
教科書	ヨーロッパ思想入門 著：岩田靖夫 出版社：岩波書店				
参考書	西洋哲学史 (全2巻) 著：熊野純彦 出版社：岩波書店				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	講義で取り上げる主要な哲学者の思想内容の要点を理解し、説明できる。			HSU(1)、HSU(2)	
②	論理的な思考方法を身につけ、問題や課題の解決に応用できる。			HSU(2)	
③	講義の内容に関連した質疑応答に積極的に参加できる。			HSU(4)	
④	主体的に選択したテーマに沿った文献を調査することができる。			HSU(4)	
⑤	主体的に選択したテーマに沿って論理的な文章を書くことができる。			HSU(4)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	この講義の概要。古代ギリシアで誕生した哲学の特質について学習する。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	教科書の第 I 章を読んでおく。Teams 上の課題に取り組む。	4	
2	「哲学は学ぶことができるか」について考え、「哲学すること」の意味について学習する。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
3	ソクラテスの思想を手がかりに、「よく生きる」とはどういうことかについて考える。課題レポートの提出、講評の確認。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
4	プラトンとアリストテレスの思想を手がかりに、理想主義と現実主義について学習する。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
5	エピクロス派とストア派の思想を手がかりに、世界市民としての生き方について学習する。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
6	ギリシア人の文化的遺産としての民主主義と哲学の関連について学習する。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
7	西洋文化の源流としてのヘレニズムとヘブライズム、キリスト教の特質について学習する。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
8	ルネサンスと宗教改革の思想を手がかりに、自由の意識と個人の自覚の意義について学習する。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
9	ガリレイやニュートンの思想を手がかりに、近代的な世界像の特質について学習する。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
10	ベーコンとデカルトの思想を手がかりに、近代哲学の特質について学習する。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
11	カントの思想を手がかりに、「自由」とは何か、永久平和は可能か、などについて学習する。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
12	社会契約説と功利主義の思想を手がかりに、私益と公益の調和について学習する。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
13	実存主義、構造主義、現象学、フランクフルト学派など、現代思想の潮流について学習する。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
14	ロールズの正義論を手がかりに、グローバル化の時代における人類の共生について考える。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
15	1～14 回の講義のまとめとして、哲学することの意義をテーマに討論を行い、レポートの講評を行う。	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	80	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	毎回の授業で教員が示した課題に取り組み、小レポートを提出する(40%)。 学期末にレポートを提出する。各自が選んだ哲学的テーマに関連する適切な文献・資料を収集し、それをもとに自分自身の考察をまとめる(40%)。 小レポートおよび期末レポートの採点基準と執筆要領は、Teams 上に示しておく。				提出された小レポートについては、個別に講評を行う。 学期末レポートについては、個別に講評を行うとともに最終講義において全体講評を行う。
	②	✓					
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		遠隔授業における質疑応答や討論に積極的に参加する(20%)。				質疑応答や討論の内容を文章にまとめて、履修者全員に配信する。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：神谷直樹</p> <p>Teams を使って遠隔授業を行います。資料や課題のダウンロードもあるので、通信容量に制限がある場合は通信量に十分に注意してください。授業時は、通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。</p> <p>各回の授業で提出する課題レポート等の冒頭の部分には、表題・学籍番号・氏名・提出年月日を必ず記入すること。課題レポート等の末尾には参考資料を明記すること。また、課題レポート等をメールの添付ファイルで提出する際には、「全員に返信」しないように注意すること。</p>							